

## 基本訓練 2 救助資機材取り扱い訓練コース

### 1 目的

6,400人以上の死者・行方不明者を出した阪神・淡路大震災では、地震によって倒壊した建物から救出され、生き延びることができた人の約8割が家族や近所の住民によって救出されています。また、令和6年1月に発生した能登半島地震でも地震による直接死230人の9割が倒壊家屋の下敷きが原因です。救助関係機関の活動が制限される大災害時、住民に出来ることは何かを学び、訓練します。

### 2 訓練内容

#### (1) 座学

①人命救助の方法と救助資機材 ②災害用救助工具セットの紹介 等

#### (2) 訓練

①ジャッキによる倒壊建物からの人命救助 ②救助ロープ取り扱い訓練 等

### 3 自主防災組織員による訓練風景



### 4 その他

- (1) 基本コースの所要時間は、2時間程度を予定していますが、内容も含めて申請者の要望に出来るだけ沿ったもので実施します。
- (2) 消防学校職員が訓練会場に出向く「出前講座」では、本コースの持ち出し可能な資機材に限られるため、規模を縮小したものとなります。
- (3) お申込みは、ホームページ内の「一日入校&出前講座」～申し込み方法～でご確認ください。

